

プレス・リリース

記者会見： 8月29日(木)午前10時 駐日スイス大使公邸にて

海洋のクリーンアップ、再生に向けた画期的なイニシアティブ プラスチック汚染に対する認識を変えるイノベーション



現在日本に向け航行中の、ドイツ製・スイス籍の宇宙船のようなボート

もはやプラスチックやマイクロプラスチックの劇的な状況をご説明する必要はないでしょう。再生可能エネルギーへの転換の必要性を主張する必要もありません。世界は早急に意義のある実践的な解決策を必要としているのです。

太陽光パネル、海水からの水素、カイトの風力、ロボット、AI のみを利用して航行するレース・フォー・ウォーター(以下 R4W)の革新的なボートが、2020年4月4日に日本に到着する予定です。その最初の任務は、海藻カーテンを屋久島沿岸部に設置し、マイクロプラスチックが海岸に到達するのを阻止することです。もちろんプロジェクトの許可を得て実施いたします。海藻カーテンはマイクロプラスチックを防ぐことが証明されており、海藻は食物、燃料および肥料として収穫することもできます。この海洋のクリーンアップは今始めても、100年かかるかもしれません。

R4W 財団は、大阪での G20 で発表された「日本が海洋クリーンアップを主導する」というコミットメントを称賛します。R4W の創始者と彼らの船は、起業家、政策立案者、沿岸コミュニティがアプローチの根本的な変化を受け入れる動機となるビジョンと科学の両方を提供します。複雑な数理モデルは、必要な投資と時間を明確にします。

1994年に国連大学でゼロ・エミッション構想を立ち上げたグンター・パウリ教授は、日本でこの実行委員長を務め、NPO 法人ゼリ・ジャパンと R4W 財団の支援を受けて、取り組むイニシアティブを主導しています。100校を超える学校の子供もたちがこの船を訪れてインスピレーションを受け、地方や国の政策立案者たちは判断をシミュレーションし、マイクロプラスチックが存在しない社会への投資の是非を決定するでしょう。産業界や学会はこれに反応するでしょう。



レース・フォー・ウォーターHP <https://www.raceforwater.org/en/>
レース・フォー・ウォーター動画 <https://www.youtube.com/watch?v=VqZKejCjke8>

【本プロジェクトに関する連絡先】

NPO 法人ゼリ・ジャパン事務局

メール : info@zeri.jp

電話 : 03-6863-8170 山本: 080-8335-3729
松下: 080-8324-8576